

PF-UA 報告（今年度の活動）

庶務幹事 近藤 寛

平成 27 年 4 月より平井光博 PF-UA 新会長の下、新しい幹事・運営委員の活動が開始いたしました。幹事会・運営委員会のメンバーは下記の一覧のように各小委員会に分かれて、それぞれの仕事にあたります。それぞれの小委員会が担当する仕事の要点をご紹介しますと、**庶務小委員会**は会員名簿の管理・会員への情報伝達・庶務の統括、**行事小委員会**は各種の学術的会合や講習会等の企画・実施、**編集・広報小委員会**は web および PF ニュース等を利用した情報発信、PF-UA 賛助会員の拡大、**戦略・将来計画検討小委員会**は PF の戦略および将来計画についての提言、**共同利用小委員会**は PF ユーザーとユーザーグループの声の集約とそれに基づく PF への提案、**推薦・選挙管理小委員会**は運営委員会および次期会長の選挙管理および機構内の必要な委員会委員の推薦、**教育小委員会**は PF と大学が連携した大学院教育の可能性の検討と若手研究会・講習会等の企画・運営 (PF および行事小委員会と共同) になります。

先日開催されました幹事会・運営委員会で今年度の活動計画が検討されました。検討を通して今年度推進することになりました事柄の中で主要なものを以下に 3 点挙げさせていただきます。①喫緊の課題 (チームタイム不足・PF 将来計画) への対応: ご承知のように、昨今のチームタイムの激減による研究・教育に於ける影響は甚大なものがあり、これを解消することに向けて各関係方面に働きかけることが喫緊の課題になっています。それに対応するために、現在、チームタイムに関するアンケートを行っているところです。アンケート結果に基づいて、関係機関に働きかけることを予定しています。また、もう一つの極めて重要な課題として、PF 将来計画の見直しがなされていることに対応して、近い将来、PF から新しい将来計画が公表された際には、それに対するユーザーとしての要望を明確化することが求められることです。公表時には、KEK の光源開発の見通し、国内の学術予算の状況、最新の国内外の放射光光源の建設・稼働状況等を踏まえたアンケートを実施して、将来の PF に対するユーザーの要望を集約します。このアンケート結果や、「PF-UA 白書」、「PF 将来計画検討委員会中間報告」、「物構研の将来像」、各種委員会・審議会等の報告書を踏まえ、将来計画に関して戦略・将来計画検討小委員会を中心に議論を行い、具体的な「PF-UA の進むべき方向 (案)」を PF-UA に提示します。そして、この案に対して PF-UA の皆様からフィードバックを頂きつつ合意を形成していきたいと考えています。② PF-UA ホームページの改良: 現在はほとんどのユーザーが閲覧していないと推測される UA ホームページを UA メンバーの情報共有、研究・教育活動の活性化、対外的な情報発信の

強化のためにしっかり機能するホームページを目指して改良をします。コンテンツとして、ユーザーにとって重要な PF-UA 白書や将来計画に関する情報、ユーザーグループの活動状況や最新研究成果、アンケートの結果等に加え、グループ間、研究者間のコミュニケーションを促進する広場のようなものも設けたいと考えています。③ PF-UA 主催ユーザーグループ (UG) ワークショップの開催: UG 内の活動の活性化、各ユーザーの UG への加入促進、UG 間の交流と情報の共有、PF 利用者としての一体感の醸成をはかることを目的として、PF-UA 主催のワークショップを開催したいと考えています。今年度中に即開催するには検討する事項が多く、準備期間も短すぎるので、今年度はユーザーグループとの意見交換を通してワークショップの形を模索し、来年度開催に備える準備期間とすることに致しました。これらの事柄に加え、学位論文登録の促進への協力、賛助会員のメリットの明確化、UG 運営チームラインの支援などが PF-UA の活動目標に挙がりました。来年 1 月の放射光学会の際に行われる PF-UA のつどい、3 月の物構研フェスタ・PF シンポジウムでは、これらの活動の進捗状況をご報告させていただく予定です。

PF-UA 会員の皆様におかれましては、PF や PF ユーザーの活動についてご関心や疑問をお持ちの点がございましたら、遠慮なく PF-UA 事務局もしくは庶務幹事までお知らせ頂けましたら幸いです。上記の PF-UA の活動は皆様のご協力によって初めて可能になるものです。皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

PF-UA 小委員会メンバー

任期: 2015 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

庶務小委員会: 近藤寛 (委員長), 田中信忠, 植草秀裕, 鈴木昭夫, 田淵雅夫, 足立伸一

行事小委員会: 清水敏之 (委員長), 植草秀裕 (委員長), 木村千里, 増田卓也, 横谷明德, 千田俊哉

広報小委員会: 山本勝宏 (委員長), 吉田鉄平 (委員長), 今井基晴, 百生敦, 八島正知, 雨宮健太

戦略・将来計画検討小委員会: 腰原伸也 (委員長), 朝倉清高 (委員長), 櫻井伸一, 佐々木聡, 佐藤衛, 百生敦, 雨宮慶幸, 村上洋一

推薦・選挙管理小委員会: 奥部真樹 (委員長), 阿部善也, 沼子千弥, 河田洋

共同利用小委員会: 上久保裕生 (委員長), 米山明男 (委員長), 栗栖源嗣, 齋藤智彦, 若林裕助, 雨宮健太

教育小委員会: 市川創作 (委員長), 奥田浩司 (委員長), 東善郎, 志村考功, 田淵雅夫, 中山敦子, 三木邦夫, 足立伸一, 木村正雄

※ PF-UA 細則第 3 章第 9 条に基づき、PF-UA 会員の雨宮慶幸先生と木村正雄先生に委員としての活動をお願いしました。

平成 27 年度第 1 回 PF-UA 幹事会議事録

日時：平成 27 年 5 月 30 日 10:00-12:30

場所：つくばサイエンス・インフォメーションセンター

出席者：平井光博（会長）、近藤 寛（庶務）、田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、清水敏之（行事）、山本勝宏（広報）、腰原伸也、朝倉清高（戦略）、奥部真樹（推薦選挙）、上久保裕生（共同利用）、市川創作、奥田浩司（教育）、足立伸一、村上洋一（運営委員）

・平井会長より新体制発足の挨拶があった。

【報告事項】

- ・各幹事の用務内容の確認と引き継ぎに関して確認があった。
- ・小委員会メンバー（案）の確認があった。
- ・「PF と PF-UA の覚え書き」の確認があった。
- ・平成 26 年度会計報告と平成 27 年度予算案確認があった。（田中会計幹事）
- ・物質構造科学研究所運営会議の報告があった。
- ・PF 将来計画検討委員会中間報告に関して報告があった。
- ・「物構研の将来像（主に科学コミュニティ向け版）」に基づき、意見交換を行った。

【協議事項】

- ・ユーザーアクティビティの公表方法について現状紹介があり、議論を行った。
- ・PF-UA からの情報発信の改善について議論を行った。
- ・PF-UA 主催ユーザーグループ・ワークショップ開催に関して議論をおこなった。
- ・PF 将来計画検討委員会中間報告および PF-UA 白書を含む PF-UA の意見集約と、新規 アンケートの実施とその方法に関して議論を行った。
- ・今後の活動方針、PF 将来計画に対する戦略に関して、提案と議論を行った。
- ・その他の議論
英語での情報発信の検討。ユーザーアンケートの実施計画について意見交換を行った。

平成 27 年度第 1 回 PF-UA 運営委員会議事録

日時：平成 27 年 6 月 4 日 10:00-12:45

場所：つくばサイエンス・インフォメーションセンター

出席者：平井光博（会長）、近藤寛（庶務）、田中信忠（会計）、植草秀裕（行事・書記）、山本勝宏（広報）、腰原伸也、朝倉清高（戦略）、奥部真樹（推薦選挙）、上久保裕生（共同利用）、吉田鉄平（編集）、米山明男、栗栖源嗣、横谷明德、鈴木昭夫、若林裕助、今井基晴、阿部善也、志村考功、櫻井伸一、東善郎、増田卓也、木村千里、雨宮健太、千田俊哉、村上洋一（運営委員）、兵藤（事務局）

・平井会長より新体制発足の挨拶があった。

- ・小委員会メンバー（案）を協議し決定した。
- ・各幹事の用務内容の確認を行った。
- ・「PF と PF-UA の覚え書き」の確認を行った。第 8 条などの修正について協議し、修正することを決定した。
- ・平成 26 年度会計報告と平成 27 年度予算案を確認した。（田中会計幹事）
- ・ユーザーアクティビティの公表方法について報告された。成果登録（論文、博士・修士論文の登録）システムは改良予定。データの公開に関して配慮する。
- ・PF-UA からの情報発信の改善について協議を行い、PF-UA メンバーの情報共有、研究・教育活動の活性化、対外的な情報発信の強化のためにホームページの改良を行う事とした。
- ・PF-UA 主催ユーザーグループ・ワークショップ開催に関して議論を行った。UG 活動の活性化、ユーザーの UG 加入率向上、UG 間の交流、PF コミュニティの活性化と一体感醸成を目的として、ユーザーグループ横断的な研究会・ワークショップの開催が提案され、引き続き検討することとした。
- ・PF の将来計画に関して、事前配布資料（PF-UA 白書「PF および日本の放射光科学の将来への提言」、文部科学省：平成 27 年 4 月「次世代放射光施設ワーキンググループ報告書」、日本学術会議「学術の動向」2015.5、物質構造科学研究所「物構研の将来像（暫定版）」）の重要な内容について紹介された。
- ・PF 報告が行われた。（村上施設長）
- ・賛助会員の増加に向けて議論を行い、PF-UA からの情報提供や働きかけを検討する事とした。
- ・今後の活動方針、PF 将来計画に対する対応など「PF-UA が進むべき方向」について議論した。喫緊の課題への対応として、ビームタイム問題があり、機構内外へのアピールや働きかけを検討する事とした。中期的課題として、PF 次期計画に対するユーザーの要望の明確化が必要であり、アンケート実施等により、ユーザーの要望に関する情報の更新を行う事とした。次期計画・将来計画については戦略・将来計画検討小委員会を中心に具体案を PF-UA に提案する。長期的な課題としては、PF 将来計画に対するユーザーの要望の明確化が必要であり、ERL の位置づけについてのユーザーからの意見をいただきたい。
- ・PF ユーザーの要望や動向を調べる新規アンケートの実施とその方法に関して協議を行った。博士・修士論文登録について、ビームタイムについて、PF の運営・将来構想等について、アンケートを行う計画であり、詳細を検討して実施する事とした。
- ・外国人利用者に向けた英語での情報提供の必要性について議論し、部分的に行う方向で検討する。
- ・ビームタイムの更なる増加を目指す働きかけについて議論を行い、戦略・将来計画委員会が検討を行う事とした。
- ・UG と施設側、UG 間の連携や情報共有を行うことで、UG、BL 担当者の問題を減らす事が出来るので、双方に協力をお願いしたい。（腰原戦略・将来計画担当幹事）